

# AI-Scope 検品お助けAIパッケージ

「画像AIによる自動判定で検査工数を大幅に削減し、検査員の業務量と負担を軽減します。」

## ✓ 解決する3つの課題

- ・ 判定基準の統一：熟練者の個人差を解消
- ・ 検査工数の削減：自動判定による大幅な省人化
- ・ 記録の自動化：全データ保存で品質を可視化



## 本サービスの流れ



まずはオンライン相談（サンプル画像歓迎）

# 対象業務：外観検査などの製造現場の代表テーマに特化



## キズ・打痕・汚れ

表面の微細な欠陥や異物の混入を、  
高速かつ一定の基準で検知します。



## 欠け・割れ・バリ

成形不良や加工後のバリ残りを瞬時に  
判別し、不良流出を防止します。



## 位置ズレ・組付

部品の有無、表裏、向き、組付け精度の  
異常をリアルタイムに監視。



## ラベル・印字確認

OCR（文字認識）機能により、  
賞味期限やロット番号の誤印字をチェック。



## 数量・カウント

重なり合ったワークの個数カウントや  
仕分け作業を自動化します。



## 記録の自動化

全ての判定結果を画像と共にログ保存。  
トレーサビリティを完全自動化。

# 特別キャンペーン & 導入事例

## 🎁 特別キャンペーン

### フェーズ1：机上検証（無料）

少量のサンプル画像で実現可否を診断。リスクを抑えたスタートが可能です。

### フェーズ2：PoC（特別価格として、20%割引）

精度評価+現場運用フローの設計。導入判断に必要な全材料を整理します。

※ 先着3社限定

※ 特別価格として、モデル開発費50万円を40万円で提供しています。

※ フェーズ3の本番実装はPoC後に別途お見積りとなります。

### 💡 外観検査へのAI導入のヒント

AI導入は、いきなり本番導入ではなく、代表的な良品・不良品の画像で“できる／できない”を短期で見極めるのが近道です。  
機上検証→PoCで指標評価（見逃し・誤検知・工数）を行い、効果を可視化します。

### 💡 担当者様の背中を押すポイント

- 「できる／できない」をまず判断できます。いきなりAIを導入するのではなく、少量のサンプル画像で実現可否を診断する「無料の機上検証」から始められるので、現場のご負担を最小限に抑えることができます。
- 記録も自動化。判定結果をログ保存するので、手書きの記録作業などの付帯業務からも解放されます。



### ☑ 事例：精密部品の外観検査

Before

熟練者に依存した検査体制で、担い手が年々減少。判定が属人化し、検査工程の負荷が高い。

After

AI検査の導入により、検査員の業務量と負担を軽減。判定の標準化を進め、品質の安定化に寄与。